



令和6年度 沖縄県立博物館友の会 主催事業

中世の 八重山・宮古と 東アジアの海

沖縄本島にグスクが出現し、首里・那覇を中心とした海洋国家琉球が東アジアの海に飛躍した時代。八重山・宮古の人びとは特有の石囲い集落を形成し、中国福建の商人と直接交易して、東アジアの海に独自の文化圏を築いていました。琉球王国が編纂した歴史書からではなく、考古学調査からわかってきた八重山・宮古の資料をもとに、強化化する琉球がこの地域を併呑するまでの歴史とその意味を考えてみます。

講師：村木 二郎氏（国立歴史民俗博物館 准教授）

2024年
(令和6年) 10月9日 水

14:00～16:00 (開場 13:30)

◆会場 沖縄県立博物館・美術館
3階講堂

(沖縄県那覇市おもろまち 3-1-1)

◆定員 200名 (当日先着順、予約不要)

◆聴講料 友の会会員 **無料**

一般(非会員) **500円** (資料代)

友の会会員のほか、一般の方も聴講いただけます。
皆様お誘いあわせの上、是非お越しください。

沖縄県立博物館 友の会入会 随時受付中!

ご入会をお待ちしております!
年会費 ¥2,000 (一般)

問い合わせ：沖縄県立博物館友の会 (沖縄県立博物館・美術館内) TEL.098-868-2722

共催： 沖縄県立博物館・美術館 ・ 一般財団法人沖縄美ら島財団